

平成30年度 学校評価表(計画・**中間**・最終)

【 4月末・**11月末**・3月初旬 】

学校名(熊野第三小学校)

a 学校教育目標	自ら鍛え 自ら磨く ～つよく かしく やさしい子～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	熊野町教育行政施策の方針「成長が”実感”できる教育の推進」 共に高まり合う熊三小 学校文化の創造(教職員 児童 保護者 地域で共に創る学校文化)
-------------	------------------------------	-------------------------	---

評価計画(4月末提出)						自己評価				学校関係者評価			n改善方策		
c 中期経営目標 (3年後を見据えて)	d 短期経営目標 (今年度)	e 目標達成のための方策	f 評価項目・指標	g 目標値	h 達成値	h 達成値	i=h/g 達成度	j 評価 A～D 4段階 評価	k 結果と課題の説明 (短期経営目標につ いての評価結果)	l 自己評価に関する評価 (関係者評価者の合計人数)			m コメント	10月	2月
					10月	2月				イ 適正	ロ 不適 正	ハ 分か らない			
豊かな心の育成	やさしい子 ～相手の気持ちや状況を察し、優しく接することができる子の育成～	思いやりの深化 ・儀式朝会における校長の 説話 ・縦割り班活動 ・兄弟学年掃除 ・学級班や係活動 ・「ありがとうの木」の取組	・児童への意識調査 (よくあてはまると回答した 肯定的評価の割合) ・「ありがとうの木」、道徳 ノート等の児童の記述内容 (よくあてはまると評価した 教師の割合)	70%	66.6%		95.1%	B	「相手の立場に立って親切にすることができる。」に対する質問に、よくあてはまると回答した肯定的評価は、66.6%であった。一方で、まったくあてはまらないと回答した児童がいた。					道徳科の授業の充実と共に、思いやりの深化につながるような教師の肯定的な価値付けをより充実させていくことで、児童の思いやりの心情を育てていく。	
その他	共に高まり合う熊三小 学校文化の創造	教職員 児童 保護者 地 域で共に創る学校文化	・各学年ゲストティー チャー、保護者の招聘回数	各学年 4回以上	3		75%	C	GTの招聘は学年平均では4.2回で目標値を達成している。しかし、達成している学年とそうでない学年の招聘回数に差がある。					目標値に達成していない学年は、カリキュラムの都合上3学期に招聘することで児童の学習が充実するものと考えている。	
			・保護者への意識調査 (よくあてはまると回答した 肯定的評価の割合)	50%	34%		68%	C	質問に対する肯定的な回答は90%を超えているが、よくあてはまると回答した肯定的評価は50%には至らなかった。					道徳科を中心とした保護者参加型の参観日等の取組を他教科や領域にも広げていく。また、地域の方の協力や支援を得た教育活動については、機を逃さずに広報していく。	

j評価 A～D 4段階評価

- A: 100 ≤ (目標達成)
- B: 80 ≤ (ほぼ達成) < 100
- C: 60 ≤ (もう少し) < 80
- D: (できていない) < 60